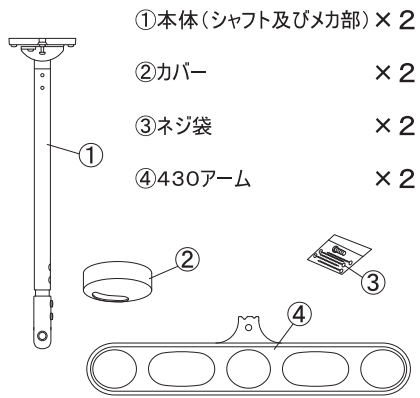


# ホスクリーン® Z-104・Z-107型 取付説明書

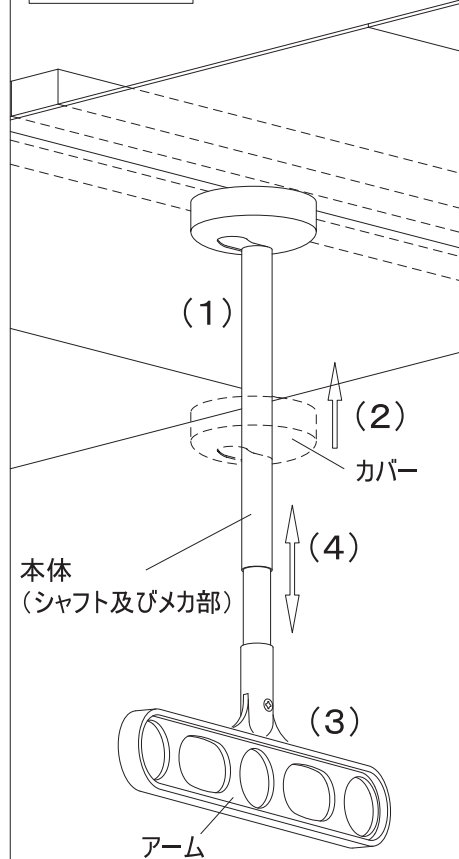
⚠ 注意 取付けは、製品の落下や事故を防ぐために建築構造を理解された施工業者様が行ってください。  
取付けは、説明書に従い確実に行って下さい。(取付けに不備があると、落下等によるケガの原因となります。)

TM-0074-04  
23.03

## 梱包内容



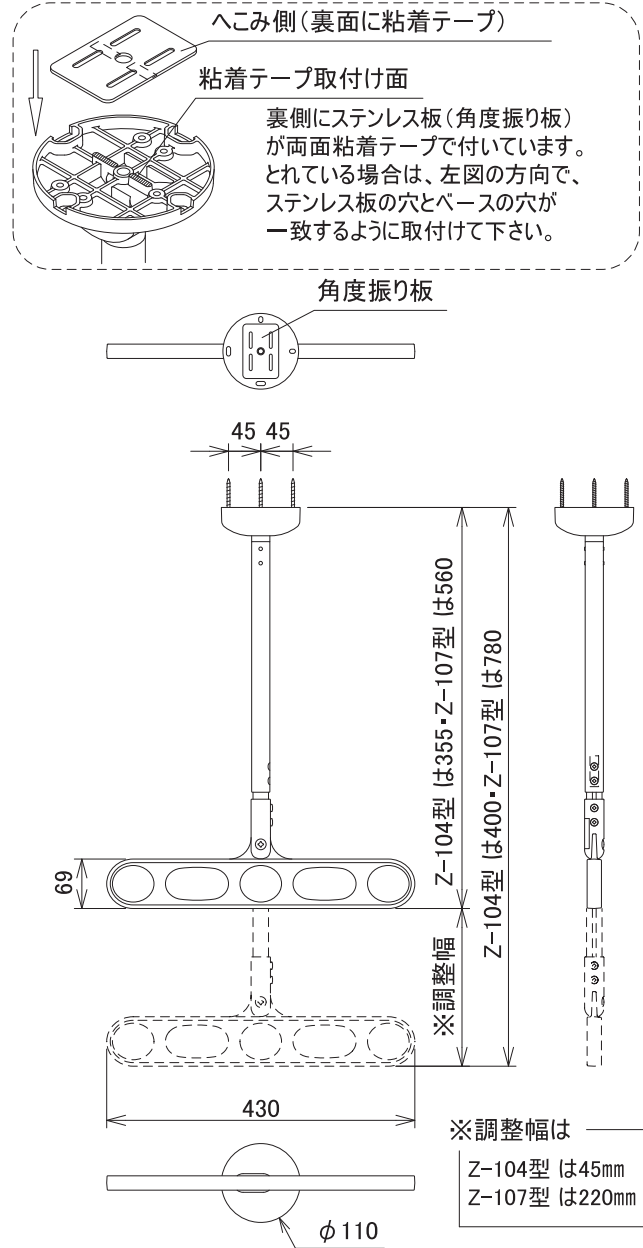
## 製品完成図



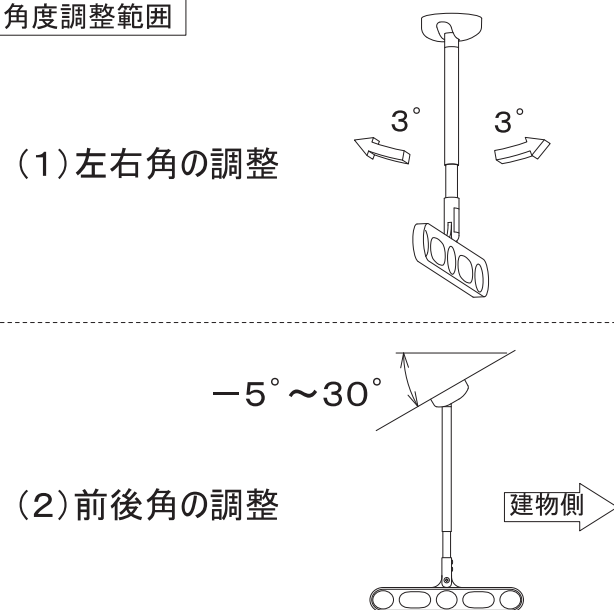
## ●取付けの順番(詳しくは後述)

- (1) 本体(シャフト及びメカ部)の取付け。
- (2) カバーの取付け。
- (3) アームの取付け。
- (4) 高さ調整。

## Z-104型・Z-107型 寸法図



## 角度調整範囲



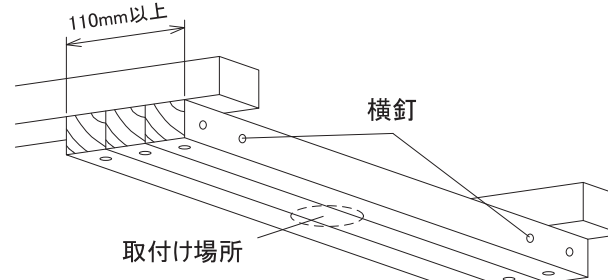
木製下地の軒天に取付ける場合

コンクリート天井面に取付ける場合

## 準備

使用する部品は、本セット内にすべて含まれています。  
この商品は取付け部に補強が必要です。取付ける部分の木製下地が、十分な強度を持っていることを確認して下さい。

### ●下地補強の例(下図)



取付け中央の野縁材の両脇に野縁材をさらに取付け、取付面巾が110mm以上になるようにします。3本が一体化するよう互いを横釘でとめて下さい。

### 野縁1本にネジ3本止めの場合

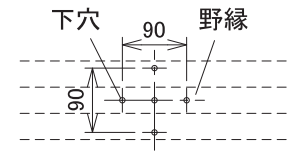
上図のような取付け方の場合、垂直下向きの力による取付ネジの抜け等はありませんが、横振りの力に弱くなります。お施主様に充分注意を促して下さい。

## 取付け方法

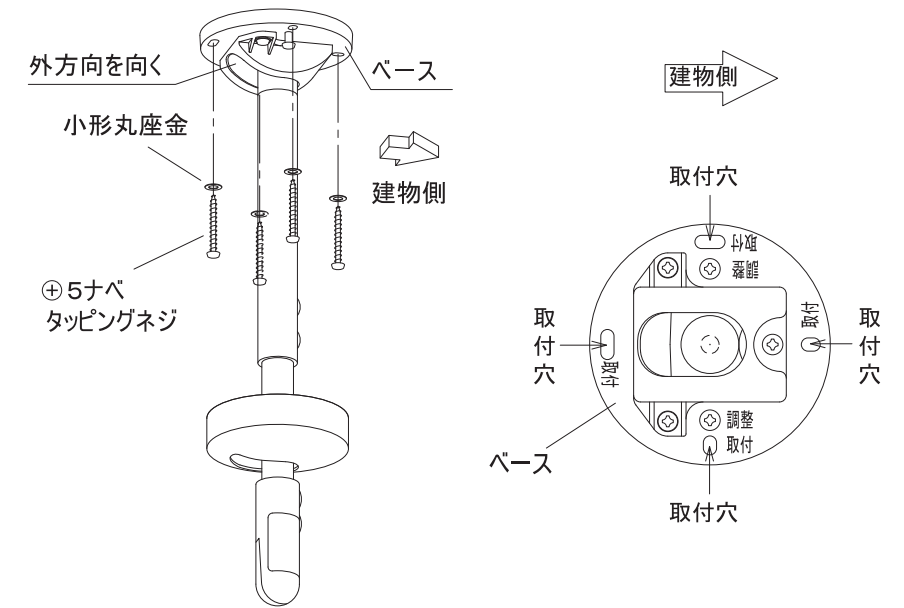
(裏面へ続く)

### 1 下穴と本体の仮止め

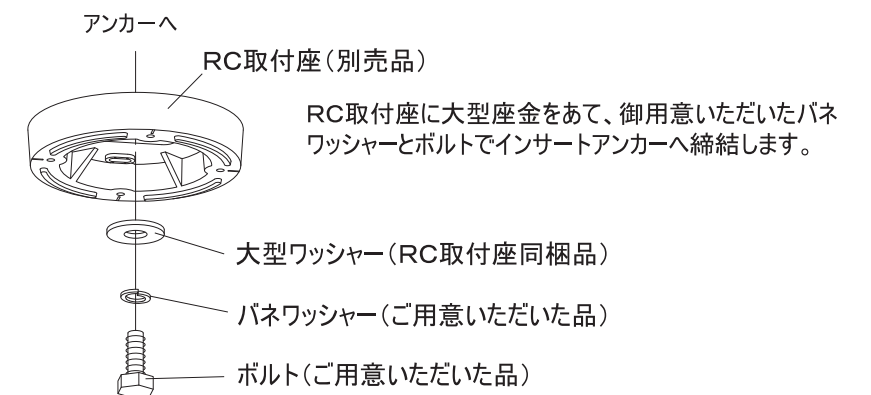
右図通りに正確に下穴(3mm前後)をあけて下さい。



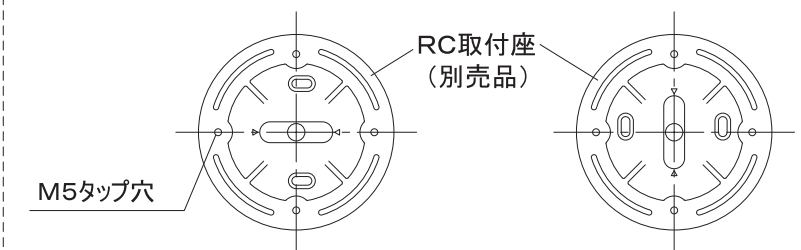
4本の取付けネジ(Z型ネジ袋)で、本体(シャフト及びメカ部)を3mm程度締め残して仮止めします。ベース周辺4つの“取付”と書かれた長穴を利用します。ベースの向きに注意して下さい。



### 1 取付座の設置



M5タップ穴が正確に取付位置に並ぶよう、取付座を取付けて下さい。(下図のように、長穴が縦を向いても横を向いても構いませんが、M5タップ穴は常に取付け方向に対して垂直です。)



### ●インサートアンカーをお使い下さい。

カットアンカー、グリップアンカーなどの後施工、打ち込みアンカーはお勧めできません。  
※インサートアンカーは当社では取り扱っておりません。  
十分に強度を持ったアンカーを御用意下さい。(3/8W、またはM10ボルトを使用するアンカーをお使い下さい。)  
インサートアンカーの例

### ●RC用取付座(別売品)が必要

この商品は、コンクリート面に取付ける場合、RC用取付座(別売品)が必要です。

### ●ボルトとパネワッシャー(別売品)が必要

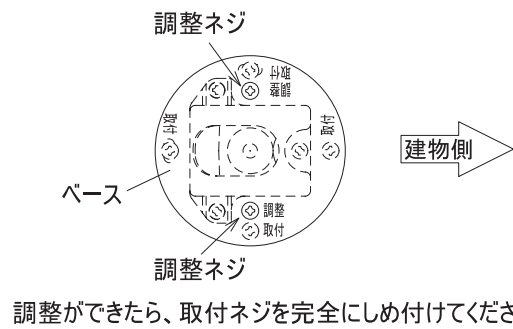
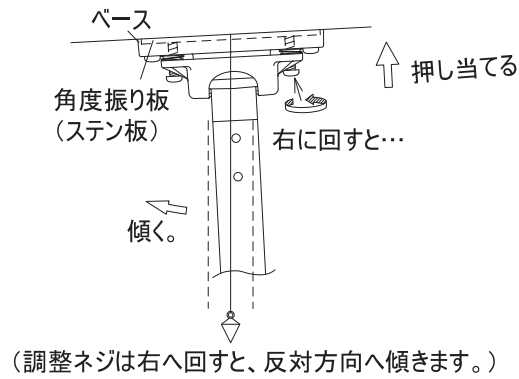
アンカーに合わせたサイズのボルトとパネワッシャーが必要です。締付け厚さは下図を参照してください。

パネワッシャー  
3/8W、またはM10ボルト  
取付座断面  
大型ワッシャー断面

取付け方法

② 左右角の調整

下げ振り等を使い、ベースを天井に押し当てながら左右角の垂直を確認してください。垂直でない場合は、押し当てたまま、脇に“調整”と書かれてある調整ネジを回して垂直にします。



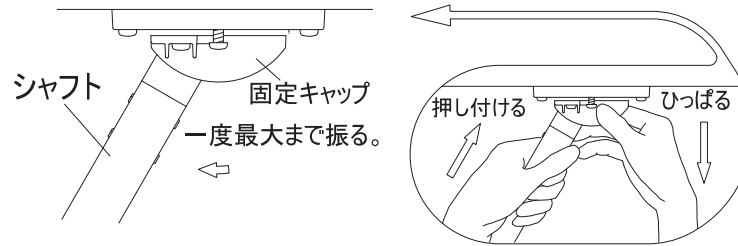
調整ができれば、取付ネジを完全にしめ付けてください。

③ 中央取付ネジの締め付け

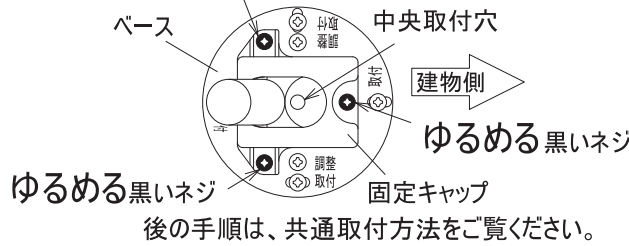
シャフトの角度を決めるためのベースの黒いネジ3本を、はずれない程度に充分ゆるめ、一度最大までシャフトを振ってください。本体の中央に取付穴が見えるので、そこを取付ネジで締め付けます。

**！ 注意** 黒いネジをゆるめずにシャフトを動かすと、本体が壊れることがあります。

(シャフトが動きにくい場合は、固定キャップを下にひっぱりながら、シャフトを上押し付けて動かしてください。)



ゆるめる黒いネジ (はずしてしまわぬようご注意ください。)

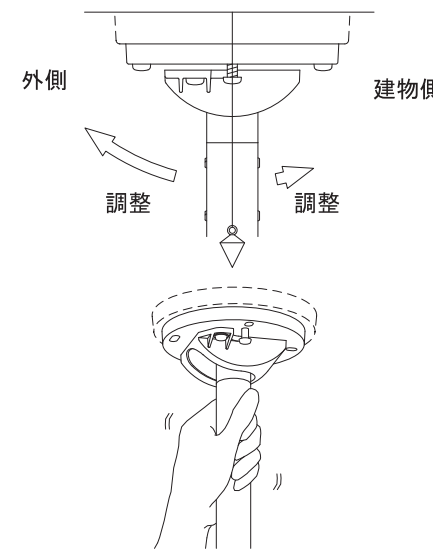


後の手順は、共通取付方法をご覧ください。

木製下地・コンクリ共通取付け方法

① 前後角の調整

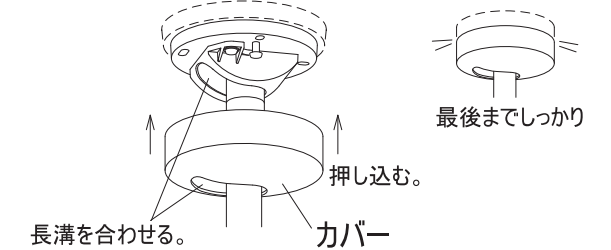
下げ振り等を使って垂直を出した後、ゆるめた黒いネジを、しっかり締め付けます。



シャフトを2、3度振ってみて、動かないことを確認してください。

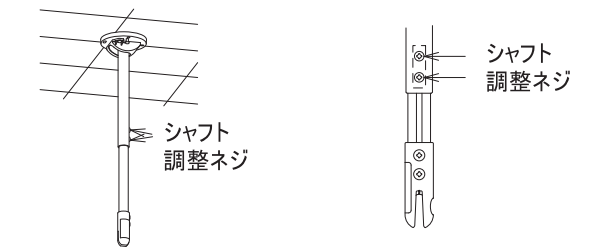
② カバーの取付け

カバーの長溝と固定キャップの長溝を合わせる方向で、爪の合わせに注意しながら、しっかりカバーを押し込んでください。



③ アームの取付け

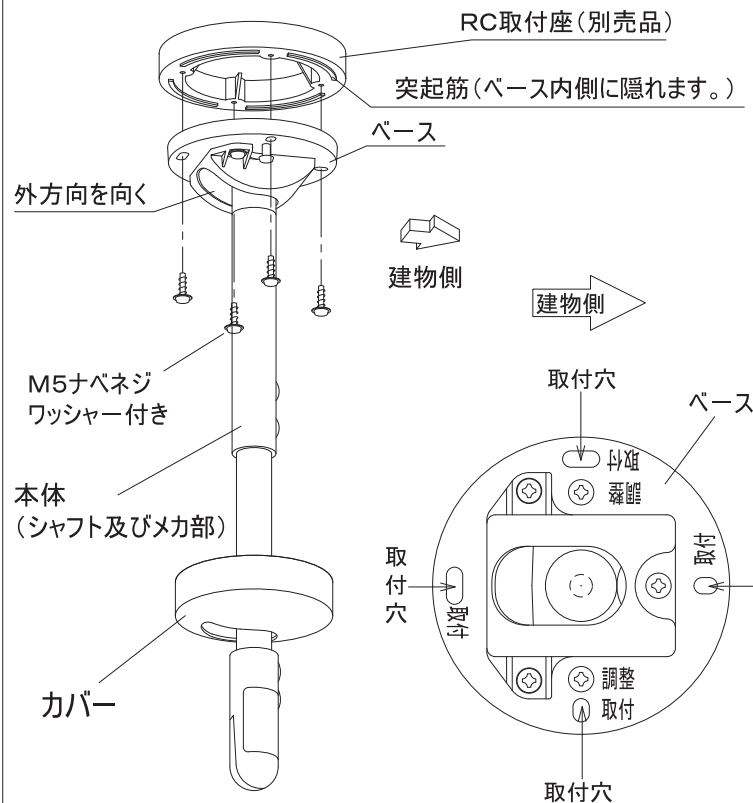
シャフトに付いているシャフト調整ネジをゆるめて、シャフトを伸ばします。



図の方向でアームを充分差し込み、受けとアームの穴が一致したら、M8ナベネジ(Z型ネジ袋同梱)で締め込んでください。

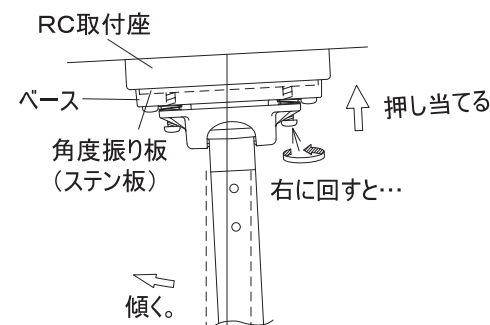
② 本体の仮止め

4本のM5ネジ(取付座ネジ袋)で、本体(シャフト及びメカ部)を取付座に仮止めします。3ミリ程度、締め残しておいてください。ネジはベース周辺に“取付”と書かれた長穴を利用します。ベースの向きに注意してください。

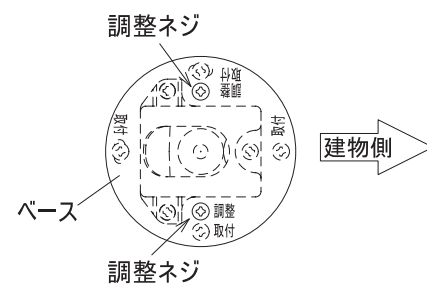


③ 左右角の調整

下げ振り等を使い、ベースを取付座に押し当てながら左右角の垂直を確認してください。垂直でない場合は、押し当てたまま、脇に“調整”と書かれてある調整ネジを回して垂直にします。



(調整ネジは右へ回すと、反対方向へ傾きます。)

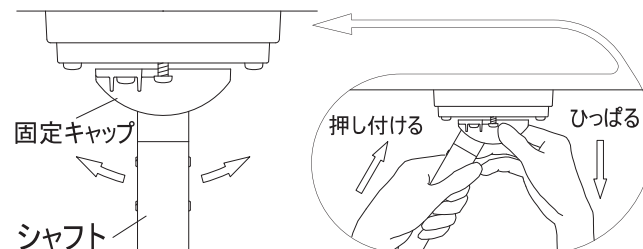


調整ができれば、取付ネジを完全にしめ付けてください。

④ 前後角の調整準備

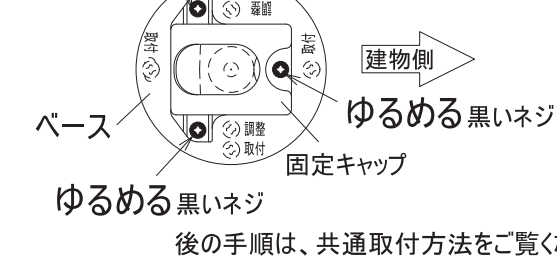
シャフトの角度を固定するためのベースの黒いネジ3本を、はずれない程度に充分ゆるめてください。シャフトが動くようになります。

**！ 注意** 黒いネジをゆるめずにシャフトを動かすと、本体が壊れることがあります。



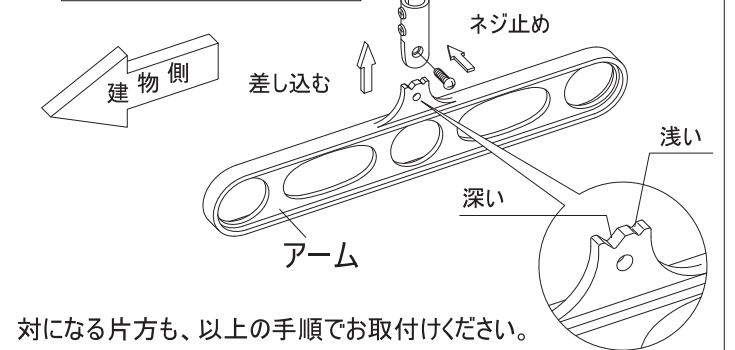
(シャフトが動きにくい場合は、固定キャップを下にひっぱりながら、シャフトを上押し付けて動かしてください。)

ゆるめる黒いネジ (はずしてしまわぬようご注意ください。)



後の手順は、共通取付方法をご覧ください。

アームの向きに注意!



対になる片方も、以上の手順でお取付けください。

④ 全体長さの調整

シャフト調整ネジを抜けない程度に充分ゆるめ、高さを調整します。調整したら、シャフト調整ネジをしっかりと締め付けて完成です。

